

「山形ビエンナーレ 2024」の開催について【第1弾リリース】

「いのちをうたう」をテーマに掲げ、蔵王温泉を舞台に2024年9月開催決定！

東北芸術工科大学(山形市上桜田/学長:中山ダイスケ)は、「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ 2024」を2024年9月1日から開催することを決定しました。メイン会場をこれまでの山形市中心市街から蔵王温泉エリアに移し、「いのちをうたう」をテーマに、温泉地でのアート体験により心身の健康を回復する芸術祭を目指します。

山形ビエンナーレは2014年に第1回を開催して以来、2年に1度隔年で開催する芸術祭(=ビエンナーレ)として、2024年で6回目を数えます。

2020年(第4回)・2022年(第5回)に引き続き、芸術監督に医師の稲葉俊郎氏を迎え、「いのち」をテーマとしたシリーズの第3弾となります。

今回は、メイン会場をこれまでの山形市中心市街地から蔵王温泉街に移します。温泉という自然のエネルギーを全身に浴びながら、日常から解放された状態でアートを体感することで、心身の健康を取り戻すことができる芸術祭を目指します。



YAMAGATA
BIENNALE

■みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ 2024 開催概要【第1弾リリース】

1. テーマ: いのちをうたう

2. コンセプト: ほどく、めぐる、うたう、ねむる、めざめる。

山形が誇る観光資源「温泉」は、地球という惑星のエネルギーが噴出する場です。まず、温泉の力により、かたく不自由になった頭と身体をほどき、自由を獲得します。そして、自由になった頭と身体で会場をめぐりながら、芸術を全身で体験してください。そこで感じたすべてを、コトバの力により無意識界から意識界へと運んでください。コトバが感じた豊かな世界を表現する手助けをしてくれます。夜は宿に泊まり、いつもとは違う階層まで眠ってください。「ねむり」は、失った自分自身を取り戻す重要で神聖な時間です。深い眠りを経て迎える「めざめ」は、闇から光を得る体験です。新しい世界に目覚め、新しい自分自身に目覚め、新しい世界を生きていく力を得るのです。

— 山形ビエンナーレ 2024 芸術監督 稲葉俊郎

3. 開催地・会場:山形県山形市(蔵王温泉街および東北芸術工科大学)

4. 会期: 2024年9月1日(日)~16日(月・祝)

5. 内容:展示・イベント・ワークショップ等

6. 参加料等:無料/一部有料プログラムを予定

7. 運営体制:

総合プロデューサー:中山ダイスケ(東北芸術工科大学学長)

芸術監督:稲葉俊郎(医師/軽井沢病院院長)

総合キュレーター:小金沢智(本学専任講師)

プロジェクトディレクター:三瀬夏之介(本学教授)/岩井天志(本学教授)/深井聡一郎(本学教授)/青山ひろゆき(本学教授)/安達大悟(本学准教授)/アイハラケンジ(デザイナー)ほか

アートディレクター:杉の下意匠室

事務局:本学 地域連携推進課

8. 主催等:

主催:東北芸術工科大学

後援:山形県、山形市、山形県教育委員会、山形市教育委員会(予定)

助成:各種財団等へ申請中

協賛・寄附:各種企業・団体、個人への募集を予定

※会場やプロジェクト、参加アーティスト等の詳細については、2024年2月以降に順次公開する予定です。

■山形ビエンナーレ HP

<https://biennale.tuad.ac.jp/news>

■本件に関する問い合わせ先

東北芸術工科大学 地域連携推進課 担当:高橋

TEL. 023-627-2218 (平日 9:00~17:15)、Mail: takakatu@aga.tuad.ac.jp

※年末年始 12月28日~1月8日は休業(お問い合わせはメールでお願いします。)

配信元 : 東北芸術工科大学 法人企画広報課 TEL:023-627-2246

Mail : public@aga.tuad.ac.jp